

10w/v%

20L

殺菌消毒剤

日本薬局方

ベンザルコニウム塩化物液
オスバン® 消毒液 10%

(逆性石けん液)

〔組成〕 ベンザルコニウム塩化物、10w/v%水溶液
(塩化ベンザルコニウム)〔性状〕 無色～淡黄色澄明の液で、特異なにおいがある。
振ると強く泡立つ。

貯法：室温保存

薄めて使用すること
(このまま使用しないこと)**製造販売元 富士製薬工業株式会社
富山県富山市水橋辻ヶ堂1515番地

**2022年10月改訂(第9版)

*2016年9月改訂

貯法：室温保存

| | | | |
|------------|---------------|------|---------|
| 日本標準商品分類番号 | 872616 | | |
| 承認番号 | 22100AMX00754 | 薬価収載 | 2009年5月 |
| 再評価結果 | 1982年8月 | 販売開始 | 1976年4月 |

〔効能・効果及び用法・用量〕

| 効能・効果 | 用法・用量 ()内の数字はベンザルコニウム塩化物濃度 |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 手指・皮膚の消毒 | 通常石けんで十分に洗浄し、水で石けん分を十分に洗い落した後、本剤の100～200倍液(0.05～0.1%溶液)に浸して洗い、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。術前の手洗の場合には、5～10分間ブラッシングする。 |
| 手術部位(手術野)の皮膚の消毒 | 手術前局所皮膚面を本剤の100倍液(0.1%溶液)で約5分間洗い、その後本剤の50倍液(0.2%溶液)を塗布する。 |
| 手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒 | 本剤の400～1,000倍液(0.01～0.025%溶液)を用いる。 |
| 感染皮膚面の消毒 | 本剤の1,000倍液(0.01%溶液)を用いる。 |
| 医療機器の消毒 | 本剤の100倍液(0.1%溶液)に10分間浸漬するか、又は厳密に消毒する際は、器具を予め2%炭酸ナトリウム水溶液で洗い、その後本剤の100倍液(0.1%溶液)中で15分間煮沸する。 |
| 手術室・病室・家具・器具・物品等の消毒 | 本剤の50～200倍液(0.05～0.2%溶液)を布片で塗布・清拭するか、又は噴霧する。 |
| 腔洗浄 | 本剤の200～500倍液(0.02～0.05%溶液)を用いる。 |
| 結膜囊の洗浄・消毒 | 本剤の200～1,000倍液(0.01～0.05%溶液)を用いる。 |

〔使用上の注意〕

3.重要な基本的注意

- 1) 本剤は必ず希釈し、濃度に注意して使用すること。
- 2) 炎症又は易刺激性の部位(粘膜、陰股部等)に使用する場合には、通常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。
- 3) 深い創傷又は眼に使用する場合は希釈液としては、注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。

2.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
過敏症：発疹、痒痒感等の過敏症状(頻度不明)があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。

3.臨床検査結果に及ぼす影響

本剤で消毒したカテーテルで採取した尿は、スルホサリチル酸法による尿蛋白試験で偽陽性を示すことがある。

4.適用上の注意

(1)人体

- 1) 投与経路：経口投与しないこと。洗腸には使用しないこと。
- 2) 使用時：
 - A. 原液又は濃厚液が眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には水でよく洗い流すこと。
 - イ. 濃厚液の使用により、皮膚・粘膜の刺激症状があらわれることがあるので、注意すること。
 - ウ. 粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと(全身吸収による筋脱力を起こすおそれがある)。
 - エ. 密封包帯、ギプス包帯、パックに使用すると刺激症状があらわれることがあるので、使用しないことが望ましい。

(2)その他

1)調製方法：

- A. 希釈液として塩類含量の多い水又は硬水を用いる場合には、通常用いる濃度の1.5～2倍の溶液として使用すること。
- イ. 繊維、布(綿、ガーゼ、ウール、レーヨン等)は本剤の成分であるベンザルコニウム塩化物を吸着するので、これらを溶液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下とならないように注意すること。

2)使用時：

- A. 血清、膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合は、十分に洗い落してから使用すること。
- イ. 石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、石けん分を洗い落してから使用すること。
- ウ. 皮膚消毒に使用する綿球、ガーゼ等は滅菌保存し、使用時に溶液に浸すこと。

3)器具等材質：

- A. 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等への使用は避けることが望ましい。
- イ. 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合は、腐蝕を防止するためにベンザルコニウム塩化物0.1%(本剤の100倍)溶液に0.5～1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。
- ウ. 皮革製品の消毒に使用すると、変質させることがあるので、使用しないこと。

〔薬効薬理〕

(1)本剤は芽胞のない細菌、カビ類、すなわちグラム陽性・陰性菌のみならず、真菌類にも有効であるが、結核菌及び大部分のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。(2)アルキル側鎖がC₁₂H₂₅のベンザルコニウム塩化物は有機物存在下での殺菌力が優れている。

〔有効成分に関する理化学的知見〕

ベンザルコニウム塩化物の分子式は[C₆H₅CH₂N(CH₃)₂R]Clで、本剤の場合、RはC₁₂H₂₅が80～85%、C₁₂H₂₅+C₁₄H₂₉が98%以上である。

12210


 バッグ: PE
 キャップ: PE